

佐川急便の環境の取り組み

佐川急便株式会社
総務部 環境推進課
日山欣也

◆ 自社天然ガススタンド

天然ガストラック大量導入促進のためのインフラ整備として
自家用天然ガススタンドを積極的に設置

公共のエコ・ステーションの
普及が遅れている



ガソリンスタンド 約42,000ヵ所

天然ガススタンド 約340ヵ所
(2009年3月31日現在)

全国で23ヵ所の自家用天然ガススタンドを設置し、天然ガストラックの導入をフォロー

◆ 天然ガス自動車

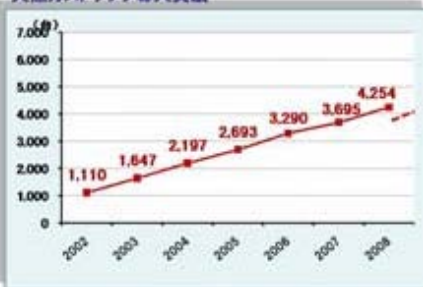
2010年1月
現在 4,350台

(2009年度計画台数 5,200台)



日本国内の天然ガストラック
普及台数の約25%

天然ガストラック導入実績



天然ガストラックの他に

ハイブリッド車	100台
バイオ燃料利用車	149台
平成17年度排出ガス規制適合車	5,846台

◆ バイオ燃料

大気中のCO₂の増減に影響を与えない性質 → 『カーボンニュートラル』

神戸店の天然ガストラック10台でバイオガスを使用



下水処理過程で発生する消化ガスから高
純度のメタンガスを精製

64.5t-CO₂の削減

(2008年度実績)

その他、関東エリアの134台、関西エリア
5台の軽自動車バイオガソリンを使用

◆モーダルシフト

スーパーレールカーゴの活用

- ・幹線物流の環境負荷低減に向けた実証実験M250系直流貨物電車
- ・東京-大阪間の小口雑貨貨物などの幹線輸送専用コンテナ列車として貨切

東京～大阪間を約6時間で結び、積載量は往復で10tトラック56台分

日本の大動脈であり、環境負荷の大きい東京・大阪間の輸送の約10%を担う



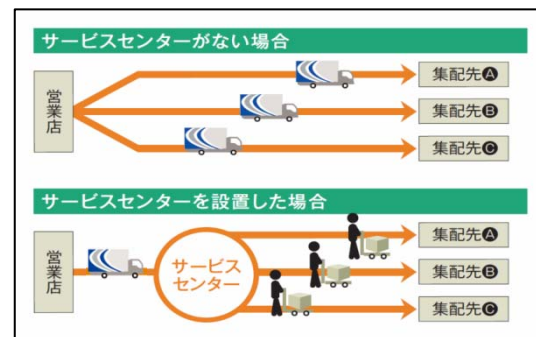
【2008年度実績】

	年間減便数 (10トン換算)(台)	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)
スーパーレールカーゴ	16,232	10,807
鉄道輸送(スーパーレールカーゴ以外)	26,560	39,595
海上輸送(フェリー)	40,170	16,973
合計	82,961	67,375

特急コンテナ電車「スーパーレールカーゴ」

◆サービスセンター

交通量が多く駐車スペースが少ない都市部を中心に、
配送車両を使用しない「サービスセンター」を設置



・台車や自転車を用いた人力での
集荷配達を行い、環境に負荷を与え
ない配送を実現

・配送車両の駐車対策と、路上駐車
による交通渋滞の緩和にも貢献

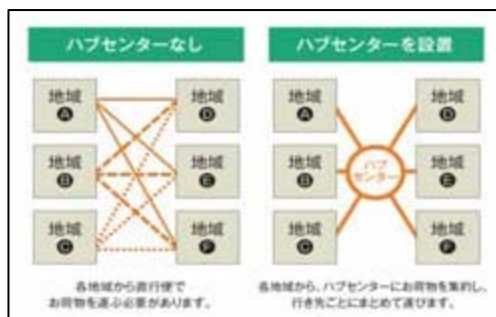
都市部を中心に236カ所
(2009年10月現在)

→ 約1,000台相当の車両を抑制



◆ハブセンター

物流の効率化



輸送を支えるネットワークづくりの一環と
して、大規模なお荷物の集約施設である
「ハブセンター」を設置して輸送の効率化
を推進

行き先ごとに荷物を仕分けすること
で積載率が向上し、トラック使用便
数が減少。
輸送回数を減少させることにより環
境負荷を低減。

現在では、国内に5ヵ所設置

◆エコ安全ドライブ



佐川急便では「エコ安全ドライブ7ヶ条」を制定
安全確保と環境にやさしい運転を実施

- ①環境面での効果 → 汚染物質や温室効果ガスの排出量を削減。環境負荷を最小限に抑える
- ②安全面での効果 → やさしい運転により、不測の事態への対応が十分に行える
- ③経営面での効果 → 燃料消費が低減し、コスト削減につながる

アイドリングストップでの年間効果

約3万トンのCO₂削減と約13.7億円の燃料費削減



◆自然エネルギーの利用推進

太陽光発電システムの導入

2003年度より太陽光発電システムを導入しており、現在、
全国23カ所で稼働し累計500kWの太陽光発電システムを保有

営業店など全国23ヶ所の施設で稼働
合計500kWのシステムを保有

(日本の一般家庭の約140世帯分の年間消費電力量に相当)



● 太陽光発電システム
設置拠点



◆自然体験学習

「佐川急便 自然体験学習」は子供たちに自然を
身近に感じてもらい、同時に田植えや草刈り、
稲刈りといった昔ながらの田植え作業を通じて、
自然の恵みや食物の大切さを知ってもらう活動を実
施



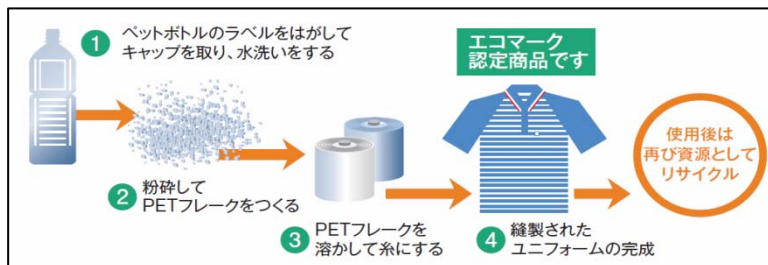
◆高尾100年の森プロジェクト

50ヘクタールの森林を活用し、保全活動はもち
ろん、森林活用の新しいモデルとしての可能性を
追求しながら里山再生に取り組む活動を実施



◆グリーン購入の推進

地球にやさしい製品を積極的に購入する「グリーン購入」を推進
ブルーのストライプでお馴染みの当社ユニフォームの素材には、
ペットボトルを再利用して作られた再生ポリエステルを使用



2008年度ユニフォーム製造枚数
約22万3,000着

ペットボトル(500ml)
約65万本分を再利用

◆環境授業

佐川急便では小学生を対象にした「環境授業」を各地で開催
「物流と環境」と題して、紙芝居などを使用して分かりやすく、当社の環境活動
を紹介

テレビや新聞などの身近な情報や社会の「環境」に対する関心の高まりもあり、
子供たちの環境問題に対する意識は非常に高く、多くの質問が寄せられる



2008年度実績

実績回数 798回
受講者 113,243人